末武栄子 全女性連会長

古賀ひろ子 宇美町商工会女性部長

黒川範子 由仁町商工会女性部長

座談会

「おもてなし」で地域間交流が活発化

商工会女性部が創設した「おもてなし交流事業」が2年目を迎えた。地域の魅力を詰め込んだ着地型観光プランを作り、お互いに利用し合うことで女性部同士の交流を深めようという企画。

取り組みの効果も徐々に現れ始め、部員増強や組織活性化、地域での存在感アップなどにつながっている。末武栄子全女性連会長の司会のもと、人気のプランを提供している2地域から女性部長の黒川範子さんと古賀ひろ子さんに取り組みについて語っていただいた。

末武　2020年東京五輪招致の最終プレゼンにおいて使われ、昨年の流行語大賞の一つにも選ばれた「おもてなし」という言葉ですが、おもてなしの精神が最も浸透しており、日常の商売等を通じて実践してきたのが、私たち商工会女性部です。

今回は、「おもてなし交流事業」に取り組んでいる女性部長お二人をお招

参加者

黒川 範子
北海道・由仁町商工会
女性部部長

古賀 ひろ子
福岡県・宇美町商工会
女性部部長

司　会

末武 栄子
全国商工会
女性部連合会会長

きし、お話を伺って参ります。まずは自己紹介からお願いします。

黒川 北海道・由仁町で薬局を営んでいます。主人と娘、孫の5人家族です。由仁町商工会女性部は、部員68人、平均年齢は64歳の元気で明るい女性部です。私たちのメイン事業は地域の夏祭りで、大人から子供まで楽しめるイベントを行ったり、屋台を出したりして盛り上げています。

古賀 福岡県・宇美町から参りました。家業は主人が建築内装業を営んでいます。私自身は、町議会の副議長をしており、現在4期目を務めています。商工会女性部員としては20年、部長に就任して3年経ちました。

現在女性部員は55人、環境に優しいEMせっけんづくりや商工祭りなどのイベント支援のほか、子供向けの絵手紙教室も行っています。

全国から50プランが提案され、延べ1500人以上が交流

末武 商工会女性部は、12年度から「おもてなし交流事業」を行っています。全国組織化45周年（11年度）を記念して創設した事業で、地域の魅力を盛り込んだ着地型観光プランを開発して、全国各地の商工会女性部がお互いにプランを利用し合うことでネットワークを広げようというものです。

全女性連に簡単な実施報告書などをご提出いただくことで、受け入れた人数に応じて1人当たり500円の助成金を出しており、事業にかかる経費として活用していただけます。

26年1月9日現在で、21都道府県から50のプランが提案されており、この2年間で予定も含めて53の商工会女性部、延べ1500人以上の女性部員がこの企画を利用し合って交流を深めています。

お二人の地域でもおもてなし交流事業を企画され、他地域の商工会女性部などとの親交を深めていますね。まずは、それぞれの地域について教えてください。

黒川 由仁町は、新千歳空港から車で40分、札幌まで車で1時間の場所にある人口約5700人の町です。特別な観光地や旧所名跡はありませんが、のんびりとした空気が流れる〝都会に近い田舎〟です。

地域の一番の売りは、日本最大級の英国式ハーブガーデン「ゆにガーデン」、コーヒー色のお湯が珍しい「ユンニの湯」、パークゴルフ場「ゆにっPA！」の3施設です。この3施設が隣接していて、由仁町のメインスポットとなっています。また、観光農園や地場食材を使ったレストランなどが観光客に人気です。

古賀 宇美町も、交通アクセスがよい場所です。福岡空港から車で15分、博多駅まで車で25分程度なので、近年はベッドタウンとして発展してきました。

人口は3万8000人です。もともとは旧産炭地としてにぎわった地で、1792年（寛政4年）創業の酒蔵や博多織工場など老舗企業もあります。山々に囲まれた緑豊かな町です。

滞在時間や予算に合わせて行き先を自由に選べるプランを企画

末武 どちらの地域も都会からの利便性がよいうえ、自然に恵まれた暮らしやすい町のようですね。おもてなし交流事業ではどんなツアーを提案しているのですか？

黒川 由仁町の企画「都会に近い田舎で遊ぼう」は、参加される方に時間いっぱい楽しんでもらえるよう、基本プランをベースに滞在時間やご予算に合わせて自由に行き先を選択できるプランを提案しています。

例えば、北海道発祥のパークゴルフを楽しんだ後、大自然を眺めながらのジンギスカン、美肌の湯で疲労回復など……。

ほかには、ガーデンの散策、由仁町で大人気の、由仁町のはずなのに、なぜか「東京」と頭についている「東京ホルモン」、牧場の「まぜまぜアイス」、近代化された納豆工場の見学、秋にはじゃがいも収穫や無農薬栽培のぶどう狩りなど、季節や嗜好に合わせて選べます。

北海道・由仁町ならではの自然や遊び、味覚を楽しんでいただきたいと思っています。

末武 由仁町は、参加者に合わせて行き先を選べるということで、自由度の高いプランに工夫されていますね。滞在したい場合には、ユンニの湯のほか、町内のお寺でも宿泊できるとか。

黒川 ユンニの湯は人気の施設のため、季節によっては満員になることもあります。そこで、友引の前夜であればお寺で宿泊ができます。朝食は、私たち女性部員が準備します。

一緒に「朝ヨガ」をした時は、毎日忙しい朝を送る女性部員の方々にとって、「ゆっくり自分のためだけの贅沢な時間だった」と好評でした。

末武 とってもおもしろいアイデアで

「参加者と朝ヨガでウォーミングアップ。爽快な一日が始まります」
―由仁町

すね。お寺に泊まりたくて来る人もいるかもしれません。宇美町では、どのような企画を提案しているのですか？

会話が弾むものづくり体験と老舗酒蔵や博多織工場見学

古賀　宇美町の企画「絵封筒やアートフラワー作りの楽しさや、老舗酒蔵などを見学して見聞を広めよう」は、体験型の企画を組み合わせて1日5時間ほどのプランを基本にしています。

　メインは、封筒の表面に切手を生かした絵やデザインを表現する「絵封筒講座」と、枯れない花でアレンジを楽しむ「アートフラワー」のワークショップです。マルト醤油醸造元内の古民家風のギャラリーで、私たち女性部がサポートしながら一緒に作ります。

　そのほか、老舗酒蔵や博多織工場、宇美八幡宮などをご案内して宇美町の魅力を紹介しています。

　宇美町は泊まるところも温泉もないので、一緒に体験することをメインに、お買い物をたくさんしてもらえるようなプランにしています。

末武　宇美町では町内に宿泊施設がないことから、交流をメインにした体験型ツアーにされたのですね。一緒にものづくりをすることで会話も弾みますね。絵封筒やアートフラワーづくりは、指導者が別にいるんですか？

古賀　女性部員が指導しています。マルト醤油醸造元のギャラリーで絵封筒を展示している女性部副部長や女性部絵画教室のメンバーがいて、女性部員で習ってコツを覚えました。アートフラワーも女性部副部長に習い、部費のお返しとして毎年末に全女性部員に配布しているものです。

　地域の病院のロビーに絵手紙などを飾ってもらったりしています。その病院で、商工会女性部が看護ボランティア体験や講演会に参加させてもらうなど交流が深まっています。

末武　地域のつながりを生かして、おもてなし交流事業のプランを組み立てられたのですね。運営面では、どんな工夫をしていますか？

詳細な行程表を作成部員の参加率を上げる

黒川　商工会事務局が、ツアーの詳細な「行程表」を作って役員に配布し、参加できる部分にマルをつけて提出してもらったところ、すごく参加率が高くなったんです。1日通しては手伝えない部員も、「この時間のこの行程は手伝えるよ」と部分的に参加してくれたり、事前には都合がつかなかった部員が、行程表を確認して飛び入りで参加してくれたりしました。

古賀　当部でも、事務局の方々が一生懸命がんばってくれています。女性部員への連絡、全女性連への報告、当日の運営サポートなどのほか、細かい面倒を見てくれます。

　例えば、ツアーの際に観光バスが細い路地を通るので、近隣のお店から苦情がきたことなどあるんですが、その応対に行ってくれたり、事前にツアーの周知をして近隣店舗に理解を求めたりしてくれます。

黒川　私たちが、ツアーのときにおそろいのピンクジャンパーを着て誘導したところ、目立つジャンパーを着ていることで参加者から「安心した」と言われました。地域にも、「商工会女性部が活動している」というアピールになりますし、商工会員の方がツアー中に声をかけてくれることもあります。

末武　商工会事務局もしっかりとサポートしてくれる体制にあるんですね。ツアー参加者の反応はいかがですか？

地域の他団体からも申し込み

古賀　私たちの事業では、この2年で10商工会、2団体、合計341人の参加者を受け入れました。宮崎、佐賀、長崎など九州一円からお越しいただき、宇美町のある糟屋（かすや）郡地域の女性部長も参加してくれました。地域にも知られ、農業団体など町内外の他団体が視察に訪れるようになりました。

　参加者の中には、絵封筒教室で習ったことを生かして早速お礼状を送ってくださる方がたくさんいます。「絵封筒づくりが楽しかった」「商売の参考になりました」など、嬉しい言葉をたくさんいただき、がんばった甲斐があったと嬉しくなります。

黒川　由仁町へは、3商工会から合計49人の方に来ていただきました。私たちのイメージは、大事な時間を楽しく

過ごしていただくことでしたが、予想を超えて「今度は友だちと一緒に来て食べたい」「ハーブガーデンに孫を連れて来たい」といった非常に具体的な評価を得られました。目的を持って再度来てくれる可能性が高いと感じています。

末武　期待以上の反応が得られているようですね。女性部員はお買い物をたくさんしてくれるのではないですか？

古賀　それはそれは、たくさんお買い物をしてくれます。お店の男性店員がびっくりするくらいです。お土産で買って気に入って、リピーターになった方もいます。商工会と距離を置いていた店舗も、あまりの経済効果に、商工会のことを見直しているようです。

黒川　由仁町でもたくさん買ってくれます。夜の懇親会で、特産のホワイトアスパラのピクルスを出したところ、在庫がなくなるほど注文をいただいたり、ご家業が飲食店をしている参加者の方には、お店で由仁の米を使っていただいたりしました。その方は、翌週にご主人と再度宿泊され、夕食時の一人用土鍋までも購入してくださいました。

末武　地域の魅力を実際に体感してもらい、その上で地域の品物をたくさん買ってもらえれば、商品のリピーターにもつながると思います。今後、より一層ツアーを充実させるためには、どんなことを考えていますか？

地元部員の参加拡大が課題

古賀　まずは、参加部員の裾野を広げていきたいと思います。女性部員や部員候補の方々に声をかけて、同じように町巡りを体験してもらうことを考えています。

　おもてなし交流事業をきっかけに、せっけん部会の参加者が増え、来年度は新規女性部員が2人入る予定です。女性部の活性化、部員強化にもつながっているので、これからも続けていきたいと思っています。

黒川　今中心となって動いているのが役員さんなので、部員さんにももっと参加してもらえるよう呼びかけていきたいと思っています。

　この事業に取り組んで、長年地元で商売してきたのに知らないことがたくさんあるのには反省しました。でも、地域の魅力を再発見できたことはよかったですし、企画を提供する私たち自身が楽しく、部員の結束力も高まりました。

「アートフラワーづくりに熱中。にぎやかな時間が過ごせます」
―宇美町

事業にチャレンジして、部員に自信
女性部活動が活発化

末武　女性部活動では、役員が主体になりがちです。部員の中には、「女性部活動は役員がする事業で、私には関係ない」と思う人もいるようです。参加してほしい部分を具体的にお願いすると、引き受けてくれることも多いので、役員さんはしっかりと声をかけ、組織を引っ張っていってほしいと思います。

古賀　宇美町では、おもてなし交流事業にチャレンジしたことで、部員に自信がつきました。東北支援の物販企画を行ったほか、マンモグラフィーによる乳がん検診を行いました。女性部のPRに、フェイスブックを使ったり、雑誌サポーター制度を活用したりもしています。

　将来的には、地域に根差した課題を解決する役割を女性部で担えるようにしていきたいんです。女性部の増強に力を入れながら、町民向けの企画も展開していきたいと考えています。

黒川　毎年恒例の親睦旅行で、今年は本別町に出かけました。本別町商工会女性部は、おもてなし交流事業の第1号のお客様でした。本別町に行くと、由仁町に来てくれたメンバーが現地でおもてなしをしてくれ、友だちに会いに行くような親しみを感じました。地域を超えた交流をますます広げていけたらいいなと思います。

末武　お二人の話を聞いて、おもてなし交流事業はいい事業に育っているなと感じます。地域の魅力を再発見でき、地域外の女性部との交流が促進されたのはもちろん、地域内で女性部の存在感が増し、また女性部員の増強にも効果を発揮しているということを聞いて、大変心強い思いです。

　この事業はまだまだ続けていきますので、ぜひとも多くの女性部でこの事業を活用してほしいと思います。